

中越大震災における学校の対応

東小千谷小学校

期日	主な出来事	記 事
10/23 (土)	17:56 □中越地方を震度7の地震が襲う。小千谷市は震度6強 □学校周辺の住民が東体育館に自主的に避難	21:30 頃 東体育館の正面の外壁が広範囲に剥離し、コンクリートの一部が前庭に崩落したとの一報が職員（中村正人）より校長、教頭に入る。 ・電話及び携帯電話ほとんどつながらない状態が続く。 23:00 頃 校長と教頭は明日の出勤について電話で連絡を取り合う。（長岡、小千谷間の道路通行の安全の見通しが立たないことから、明朝、一緒の自家用車で、学校に向かうこととした）
10/24 (日)	□東体育館及びグラウンドに東山小学校区（朝日・寺沢・塩谷）住民が多数避難 □強い余震が続くため、東体育館に避難していた住民がグラウンドに移動 9:00 頃 □岩淵PTA会長来校 □電気・ガス・水道等不通 □職員玄関に避難所本部設営 15:39 □浦柄地域に避難勧告発令	6:30 頃 校長と教頭が学校に到着する。 ・校長と教頭は職員玄関より校舎内に入り、北校舎一階及び西体育館の被害を確認する。 8:00 頃 教頭は中村正人教諭と共に校舎内の被害状況を確認すると共に、記録を残すため、全校舎を巡視しながら記録写真を撮影する。 9:00 頃 校長は学校の現状と明日の見通しについてPTA会長に説明する。 9:30 頃 校長は避難住民及び市関係者と避難所の運営等について協議する。（鍵の管理、消灯等施設使用上の留意点、自治会組織結成、施設借用上の管理者への要望等） 11:00 頃 5名の職員が学校に駆けつけ、北校舎1階教務室・校長室等の物品の整理及び、避難者への対応をする。 14:00 頃 校長・教頭・教務で、明日からの学校運営等について協議する。（職員出勤は平常、児童の安否確認方法、「うつぎ」の作成とその内容、避難所開設に伴う職員の役割と分担等） ・教頭は順次出勤してきた職員に明日の出勤について、職員連絡網で連絡するよう指示する。（平常出勤、ゆとりをもった出勤に心がけること等） 15:30 頃 職員は浦柄地域住民の避難所準備を行う。
10/25 (月)	10:00 □学校だより配布 □児童の安否確認を開始（終日）	8:15 職員打ち合わせ ・教頭は校長の指示により、今後の指示命令系統を職員に伝える。本部長を学校長とするとともに、全て教頭を通して報告をすることとした。今日の予定を伝達する。 外部との対応の責任者：教頭（太田） 職員→教頭→校長 校内の対応責任者：教務（上村） 職員→教務→教頭→校長 ・職員は管理箇所の被害状況を調査し、教頭に報告する。 ・校長・教頭は次々と来校するマスコミ関係者と対応する。 10:00 教務は、明日からの学校の動き等について、臨時学校だより「うつぎ」を作成する。 ・地域担当職員が「うつぎ」（東小の現況、明日からの対応、子どもへの励まし等）を持参し、児童の安否を確認しながら配布した。およそ50名の安否情報が得られず夕刻となる。 ・帰校した職員から順次避難者への支援と校舎内の復興作業を行う。 14:00 校長、教頭は学校の被害状況と児童の安否状況を伝えるため災害対策本部（教育長）に出向き報告すると共に、市内各校の状況の概要を得て、帰校する。 16:00 職員終会
10/26 (火)	10:00 □学校だより配布	8:15 職員打ち合わせ 9:00 校長は避難所の運営について、市代表（小見山）とミー

	☐ 児童の安否確認を開始（午前中）第1回安否確認終了・・・全児童確認 18:00 ☐ 職員は北校舎1階、2階の復旧作業を実施	・テイングし、自治会組織を結成する。 ・職員は前日に引き続き、町内に出かけ児童の安否を確認する。午前中に全児童の安否確認が完了する。 ・教頭は県小校長会の指示により、市内小学校の被害状況をまとめ、FAXにて送信すると共に、市教委米山管理指導主事に届ける。 ・校長・教頭・教務で今後の対応等について協議する。（今後の児童安否確認について、マスコミ対応、学校の復旧作業予定等） 16:00 職員終会
10/27 (水)	☐ 前庭とグラウンドに仮設トイレ搬入 ☐ 避難する住民が体育館に228名、グラウンドに255名（自家用車およそ70台）	8:15 職員打ち合わせ ・職員は避難所運営の補助と校地・校舎の復旧作業を行う。（北校舎の清掃と物品整理） ・職員は避難所の仮設トイレ等の清掃を行う。 16:00 職員終会
10/28 (木)	☐ 自衛隊到着、風呂の施設設置作業開始 10:00 ☐ 学校だより配布 ☐ 第2回安否確認終了・・・全児童の所在を確認	8:15 職員打ち合わせ ・臨時学校だより「うつぎ」（今後の対応、所在確認の知らせ、子どもたちへの励まし）作成し、職員は2度目の各所訪問を行う。 16:00 職員終会
10/29 (金)	☐ 自衛隊が本格的にテントの設営開始 ☐ 泉田県知事が避難所を訪問	8:15 職員打ち合わせ 校長、同窓会長、後援会長宅を訪問し、学校の被災状況や学校再開のめど等について知らせる。 9:30頃 知事が到着するまで校長、教頭は学校に残る。 ・職員は避難所運営の補助と校地・校舎の復旧作業を行う。（北校舎の清掃と物品整理、中廊下の整理、復旧作業） 16:00 職員終会
10/30 (土)	☐ 市職員全員本日より対策本部所属	・校長、中村正人は終日学校で避難住民との対応を行う。
10/31 (日)	☐ 岩手県の防災支援者来校	・教頭、中村正人、横山、本多が日晏如住民との対応を行う。
11/1 (月)	☐ 学校復旧活動	8:15 職員打ち合わせ ・職員は岩手県職員と共に学校復旧の準備をする。（南校舎の清掃と物品整理、中廊下の閉鎖） 16:00 職員終会
11/2 (火)	10:00 ☐ 学校だより配布 ☐ 第3回安否確認終了・・・全児童の所在を確認 ☐ 埼玉県・神奈川県 of 防災支援者来校	8:15 職員打ち合わせ ・臨時学校だより「うつぎ」（児童への励まし、他人からのメッセージ）作成し、職員は3度目の各所訪問を行う。 ・学年主任会で学校再開のめどについて校長より話があり、今後の学校としての動きについて話し合う。（学校再開に際し、校舎内の壁・柱の大きな亀裂を大洋紙等で隠し子どもたちの不安材料を減らす等） 16:00 職員終会
11/3 (水)	☐ 文化の日	・災害に伴う避難所等の支援のため多くの職員が学校もしくは市の車両センターで勤務にあたる。
11/4 (木)	☐ 学年主任会 ☐ PTA正副会長会	8:15 職員打ち合わせ ・臨時校長会が市役所で行われ、今後の市内小中学校の対応について協議する。 ・学年主任会で校長会の決定事項等の伝達があり、職員は東山小学校の受け入れ準備を行う。（教室の確保、物品異動、清掃等） ・クロサキ給食室等点検する。 ・TA正副会長会を開き、東山小学校が東小千谷小学校の一部教室等を利用しての学校再開となることを伝える。

		・西体育館の復旧工事を伴清工業、明光社が行う。 16:00 職員終会
11/5 (金)	10:00 ☐ 職員は学校だよりを持参し、手分けして児童の安否確認を開始。 第4回安否確認終了・全児童の所在を確認 ☐ 学年主任会	8:15 職員打ち合わせ ・学校だより「うつぎ」12号(当面の予定、学校再開時の登下校について、学校の復旧状況等)作成し、職員は4度目の各所訪問をする。 ・学年主任会を開き、8日の学校再開について式内容を協議する。その後諸準備を行う。 ・障害児児童のスクールバスについて市教委と協議し、通学路の安全が確保されないので全員許可される。 16:00 職員終会
11/6 (土)	☐ 神奈川県副知事訪問	・震災損失備品のリストを作成し、市教委に提出する。 ・校長は同窓会長、後援会長宅を訪問し、8日からの学校再開を報告する。 ・伴清工業が西体育館のガラス設置を行う。
11/7 (日)	・NHK「おはようニッポン」が放映される。	
11/8 (月)	☐ 学校再開 ☐ 愛知県の防災支援者が来校する。 ☐ 登校指導	7:30 職員出勤 9:00 学校再開 「今だよね 助け合うときってサ(立ち上がり集会)」を避難者、ボランティアと共に実施する。職員の出勤午前7時30分。教育長来校する。 ・一日中マスコミの取材があり、校長、教頭等が対応する。NHK、フジテレビ、NT21、BSN他 ・校長、教頭、教務で東山小との共同生活上の諸問題の共通理解等打ち合わせを実施する。
11/9 (火)	☐ 県よりの支援者(五十嵐春吉氏)が来校する。 ☐ 登校指導	・一日も早い復興への願いを込め、「あかりをともしよう すべての人に」横断幕作成し、屋上に掲げる。 ・学校再開の知らせ、避難住民の風呂等の利用の足元の灯りに本日より校舎のライトアップを開始する。 ・校長が東山小の子どもたちに歓迎と励ましを伝えるために6教室を訪問する。
11/10 (水)	☐ 本日より簡易(シンプル)給食 ☐ 県派遣の支援者(吉澤克彦氏、小林勝也氏)来校 ☐ 登校指導	・NHK、新潟テレビ21等の取材あり、校長対応する。 ・教頭は県PTA連合会(谷中:山本)よりの依頼により市内各小学校における児童の家庭の被害状況調査依頼を各校にFAXする。
11/11 (木)	☐ 北校舎のガスが復旧 ☐ 心のアンケートを実施 ☐ 県派遣の支援者(佐藤友保氏)来校 ☐ 国土交通省の調査 ☐ 登校指導	・義務教育課吉越より連絡、来週よりカウンセリングを派遣したいとのことで、カウンセリングを必要とする児童の概数を明日午後1時まで報告することになる。 ・NHK来校し、心のアンケートについて問い合わせがあるが、教頭は即答せず、市教委渡邊管理に伝える。
11/12 (金)	☐ 学校だより配布 ☐ 県派遣の支援者(宮川由美子氏、三富郁宏氏)来校 ☐ 広島県の防災支援者来校 ☐ 登校指導	・学校だより「うつぎ」13号(学校の現況、来週のシンプル給食の予定)作成し、児童に配布する。 ・県の派遣カウンセラー月曜日から入るとの連絡が義務教育課より入る。
11/13 (土)	☐ 自衛隊の慰問演奏が前庭で実施	・自衛隊の慰問演奏の対応を教頭が行う。他5名の職員が出勤する。
11/14	☐ ジャイアンツ選手の	・ジャイアンツ選手の慰問の対応を校長が行う。他4名の職員が対

(日)	慰問が西体育館で実施	応ずる。
11/15 (月)	☐ 東山・東小のよろしく集会実施 ☐ 県派遣カウンセラー(澤 真理氏)来校 ☐ 上教大ボランティアの派遣開始 ☐ 県派遣の支援者(関久志氏)来校 ☐ 個別懇談会開始	・東小・東山小「よろしく集会」を避難者、ボランティア、防災支援者と共に実施した。子供同士の交流の第一歩とした。
11/16 (火)	☐ 秋田の防災支援者来校 ☐ 県派遣カウンセラー(野沢栄子氏、大掛益美氏)来校	
11/17 (水)	☐ 小学校経営研修会(和泉小)	・小学校経営研修会に校長、教頭出席し、「各校の震災状況、今何をしなければならないか、今後の授業時数と学習内容等」について協議し、中越教育事務所指導主事より助言を得た。
11/18 (木)	☐ 県派遣の支援者(関久志氏)が来校する。	・全校児童に支援物資のりんごが1個ずつ配られた。 ・穏やかな学校環境をつくるために「癒しの音楽」を昼休みに流し始める。
11/19 (金)	☐ 中川ひろたかコンサート ☐ 異動会議 ☐ 学校だより配布 ☐ 群馬の防災支援来校	・少しでも子どもたちに明るい笑顔を取り戻してもらいたいと願って「中川ひろたかコンサート」を実施する。 ・午前中、校長は異動会議のため、中越教育事務所に行く。 ・学校だより「うつぎ」14号(シンプル給食実施の中で、子どもたちは食をどのようにとらえているか、来週の給食予定、学校の現況)作成し、児童に配布する。 ・富山県の高等学校より「シクラメン」が届く。 ・「癒しの音楽」早朝より流し始める。
11/20 (土)		・避難住民のランドリーと、学習の場の提供のため図工室・理科室の外鍵を設置する。
11/21 (日)		
11/22 (月)	☐ 長野県の防災支援者が来校する。 ☐ 下校指導。	・小・中・高校生に学習の場の提供を開始する。(理科室) ・図工室のランドリーの使用始まる。 ・校地校舎の管理について東山小と話し合い、本日より管理当番を共同で実施する。
11/23 (火)	☐ 勤労感謝の日 ☐ 市合同慰霊祭 ☐ NHK「おはようニッポン」放映	・市合同慰霊祭に校長出席する。 ・NHK「おはようニッポン」放映される。
11/24 (水)	☐ 漢字となかよしキャンペーン	8:15 職員打ち合わせ ・鹿児島県国分市のボランティアが「まいづる鍋」振る舞う。
11/25 (木)	☐ 学年主任会	・鹿児島県国分市のボランティアがシチューを振る舞う。 ・県小学校長会の依頼により、児童の家庭の被害状況調査依頼を各小学校に依頼する。当校保護者にアンケートを配布する。 ・学年主任会を開き、授業時数の回復案、当面する学校行事等について協議する。
11/26 (金)	☐ 学校だより配布	・学校だより「うつぎ」15号(各町内代表の子どもが書いた、震災直後の様子等)作成し、児童に配布する。
11/27 (土)	☐ バスケットボール「アルビレックス」慰問のため来校。	・バスケットボール「アルビレックス」西体育館に慰問に訪れる。校長が対応する。
11/28		

(日)		
11/29 (月)	☐ 連合北海道の防災支援者が来校。 ☐ 県小学校長会支援教員の派遣開始。 ☐ 「心のケア」アンケート実施 ☐ 子どもを語る会	・この日より、被災地域の学校と子ども支援のため、県小学校長会の派遣教員が来校する。(大町)
11/30 (火)		・小学校長会の派遣教員が来校する。(東本町)
12/ 1 (水)	☐ 職員打ち合わせ ☐ 県教教育委員会災害加配教員着任(2名)。	8:15 職員打ち合わせ ・本日、災害支援教員として佐野教諭が着任する。 ・教頭、中越教育事務所に災害支援教員採用の面接に赴く。災害支援教員(齋藤)が東小に着任する。 ・本日より、放課後に東中の部活動が西体育館で行われる。 ・県小学校長会の派遣教員が来校する。(国府)
12/ 2 (木)		・米子高専の調査団が来る。 ・県小学校長会の派遣教員が来校する。(高志)
12/ 3 (金)	☐ 学校だより配布。 ☐ 神奈川県議会議員避難所・学校視察。	・学校だより「うつぎ」16号(地域からのメッセージ、児童のメッセージ)作成し、児童に配布する。 ・神奈川県議会議員(15名)の視察を受け、校長・教頭で対応する。 ・県小学校長会の派遣教員が来校する。(春日) ・大和リースが東山の仮設建設の下見に来る。
12/ 4 (土)		・早朝より浦柄町内の住民は仮設住宅への引っ越しを始める。 ・教頭、細貝建築の調査及び復旧工事業者と一日対応する。 ・クロサキ工事に来る。
12/ 5 (日)	☐ 大リーグエキスポス 大家投手慰問に来校。	・浦柄町内が東体育館の清掃を行う。 ・校長、教務「大リーグ」の慰問の対応を行う。
12/ 6 (月)	☐ 職員会議 ☐ 東山小学校仮設教務室工事開始。	・朝から東体育館等の復旧作業を級外職員中心に行う。 ・職員会議を開く。 ・東山小の仮設教務室の工事が始まる。 ・県小学校長会の派遣教員が来校する。(大手町)
12/ 7 (火)	☐ 若草(児童)朝会 ☐ 学習参観日 ☐ 1・2・5年の学習発表会 ☐ 東山・東小千谷小面識会	・県小学校長会の派遣教員が来校する。(春日新田) ・クロサキが家庭科室のガス管工事、伴清工業が西体育館の窓枠工事に入る。 ・両校のスタッフが勢揃いしたことから、親睦を深める意味から面識会を実施する。
12/ 8 (水)	☐ 職員打ち合わせ ☐ 衆議院議員の学校視察。 ☐ 学習参観日 ☐ P T A部会 ☐ 完全給食開始。	8:15 職員打ち合わせ ・民主党衆議院議員4名が学校視察に来校する。 ・本日より完全給食再開される。 ・県小学校長会の派遣教員が来校する。(八千浦)
12/ 9 (木)	☐ ビル管理協同組合が東体育館を清掃	・県小学校長会の派遣教員が来校する。(南本町)
12/10 (金)	☐ 学校だより配布。 ☐ 安全点検日	・県小学校長会の派遣教員が来校する。(高田西) ・学校だより「うつぎ」17号(学校の現況、各学年の現況)作成し、児童に配布する。
12/11 (土)	☐ 校舎耐震検査	・細貝建築の調査のため、教頭が対応する。
12/12 (日)		
12/13		・県小学校長会の派遣教員が来校する。(保倉)

(月)		
12/14 (火)		・ 県小学校長会の派遣教員が来校する。(高士)
12/15 (水)	☐ 職員打ち合わせ ☐ 音楽朝会	8:15 職員打ち合わせ ・ 県小学校長会の派遣教員が来校する。(飯)
12/16 (木)	☐ 学び方向上週間開始	・ 県小学校長会の派遣教員が来校する。(黒田)
12/17 (金)	☐ 学校だより配布	・ 県小学校長会の派遣教員が来校する。(直江津南) ・ 学校だより「うっぎ」18号(地域の声、学年の現況)作成し、児童に配布する。
12/18 (土)		・ 大和リースが東山小管理棟の工事を行う。教頭が対応する
12/19 (日)		・ 大和リースが東山小管理棟の工事を行う。上村が対応する。
12/20 (月)		・ 県小学校長会の派遣教員が来校する。(新飯田、白井、根岸、白根、築地)
12/21 (火)		・ 県小学校長会の派遣教員が来校する。(小林、白井、白根)
12/22 (水)	☐ 職員打ち合わせ ☐ 就学指導委員会(市)	8:15 職員打ち合わせ ・ 県小学校長会の派遣教員が来校する。(庄瀬、白井、大鷲、根岸) ・ 伴清工業・明光社が工事に入る。
12/23 (木)	☐ 天皇誕生日	・ 伴清工業が内装工事のため校内に入る。教頭が対応する。
12/24 (金)	☐ 第2学期終業式 ☐ 学校だより配布	・ 街角終業式「明日に向かって歩こうよ」を東大通りアーケード内で実施。 ・ NHK、新潟日報等の取材に校長が対応する。 ・ 県小学校長会の派遣教員が来校する。(白根、白井、大鷲、根岸) ・ 学校だより「うっぎ」19号(全国からの激励に対する子どもたちの思い等)作成し、児童に配布する。
12/25 (土)	冬季休業開始	・ 校長学校巡視
12/26 (日)		・ 上村学校巡視
12/27 (月)	☐ 職員打ち合わせ ☐ 職員作業 ☐ 校内就学指導委員会 ☐ 小体連代議員会	8:15 職員打ち合わせ
12/28 (火)	☐ 職員作業	
12/29 (水)	年末休業	・ 教頭学校巡視
12/30 (木)	年末休業	・ 教頭学校巡視
12/31 (金)	年末休業	・ 上村学校巡視
1/1 (土)	元旦	・ 校長学校巡視
1/2 (日)	年始休業	・ 教頭・上村学校巡視(グラウンド体育小屋等除雪)
1/3 (月)	年始休業	
1/4 (火)		

11月 1週 予定

今月の生活目標：やさしいっぱい 笑顔もいっぱい

(11月) 赤いやねの家

土 30	・校長対応											
日 31	・教頭対応											
曜	日		1	2	3	4	5	6	バス	出張等	提出文書	
月 1	・職員朝会 9:00~11:30 ○校舎・調理室整備作業 (級外)	○校舎整備作業 ・水ぶき(水道が出たら) ・机椅子、物品の復元、便所 ・教室内整備 (担任、級外) ・職員終会16:30	南校舎 2階 北校舎 1階									
火 2	・職員朝会 9:00~11:30 ○校舎・調理室整備作業 (級外)	○校舎整備作業 ・水ぶき(水道が出たら) ・机椅子、物品の復元、便所 ・教室内整備 (担任、級外) ・職員終会16:30	南校舎 3階 北校舎 2・3階						安藤・権太 家塚・初任研 小千谷		星野702: 期末運動会結果報告(中絶)	
水 3	文化の日											
木 4	・職員朝会 9:00~11:30 ○校舎・調理室整備作業 (級外)	○臨時職員会議 13:30~15:00 ・11/8以降の活動等 ○スロツチャタイム 15:00~16:00 ・学習再開に向けて、自教室整備 ○校舎・調理室整備15:00~16:00(級外) ・職員終会16:30	校長・市小学校長会13:30~ 13:45 正人: 小千谷小 小千谷 小千谷 小 13:00~ 中澤: 市学校保健研修委員会 13:45~14:00									
金 5	・職員朝会 ○児童所在確認&臨時うつぎ3号配布(各町内) (担任) 9:00~12:00 ○校舎・調理室整備作業 (級外)	○校舎整備作業13:30~ ・自教室関係場所(級外) ・職員打合せ15:30~ 最終準備等	安藤・東山 家塚・金具教頭会 厚子・新大新橋小研究会8~20~ (休館日) 後援会三役会18~00~休館								中澤204: 学校保健委員会状況調査(市教委) 星野609: ライフデザインセミナー参加申し込み (休館日)	

家庭訪問より 保護者からの声

平成16年11月1日現在

1 11月8日から学校は開始できるのですか？(施設・設備・道具に関して)

- ・ 学校は安全ですか？
- ・ ひび割れやガラスの破損は？
- ・ 教室は使えますか？
- ・ 学校の補修工事は必要ないのですか？
- ・ 避難所の方はどうなるのですか？
- ・ 体育館やグラウンドは使えるのですか？
- ・ 勉強道具が無いのですが？

2 子供を学校に通わせることに不安があるのですが…。(各家庭の状況に関して)

- ・ 住む場所、落ち着いて生活する場所すら決まっていなくて、それまで市外に子供を預けます。その場合、欠席になるのですか。
- ・ 市外に避難しており、子供を呼び戻すことができるような状況になるかどうか…。
- ・ 避難しているので戻れません。
- ・ 安全宣言が出るまでは心配です。
- ・ 下校後、子供だけになり心配です。学校で面倒見てもらうことはできないものでしょうか。
- ・ 登下校の間や授業中に余震があると危険な場所もあるのでは？
- ・ 集団登校にしてほしい。
- ・ いろいろな感染症が心配です。

3 学校生活に変更はありますか？(当面の学校生活について)

- ・ 給食はどうなりますか？
- ・ しばらくは午前だけですか？
- ・ 冬休みなどが短くなるってうわさを聞いたのですが？
- ・ 勉強は終わるのですか？

4 子供の様子について(心配な状況について)

- ・ びくびくしながら夜を過ごしていました。
- ・ 眠りが浅いようです。
- ・ 煮炊きで木を燃やしているので、少し喘息が…。
- ・ 母親がいないと探すときがあります。
- ・ 夜になると不安になり、泣くこともあります。
- ・ 二日間は、泣くことが多かったです。

5 その他

- ・ 転校を考えています。
- ・ 子供は元気で早く学校に行ってもらわないと。
- ・ とてもこわくて家に入れない。
- ・ 仕事が始まったので、昼間の子供のことが心配です。
- ・ いつから始まるのか確実な連絡をください。
- ・ 転入先で、転入もしくは、一時通学することも考えています。
- ・ 仮設住宅を希望しています。その場合の、通学方法が不安です。
- ・ 文化祭は、どうなるのですか。
- ・ 学校徴収金は、これまで通りですか。

はばたき

第24号

11月8日(月)



また、会えたね!



このたびの震災におきまして、心よりお見舞い申し上げます。休校中、避難場所を回らせて頂きました。大変な状況にもかかわらず、逆に保護者の皆様から励ましの言葉を頂きました。みなさまの心の温かさが身にしみた2週間でした。

今日から、再び東小がゆっくりと歩き始めました。友達と会うことができ、喜ぶ顔を見ることができました。はばたき学年の子どもたちは、大きなケガはなく、全員無事であることを確認しています。ゆっくりと元の生活にもどれるように心のケアを中心に過ごしていきたいと思っています。これからの学校生活については、先日お渡ししたうつぎ第12号で書かれてある内容で学校生活を過ごしていきます。



今日の活動

◎1時間目:会えたね。

●友達と会えた喜びを、味わう時間と、余震時における避難の仕方を確認しました。4年生は、児童玄関前に集合することになっています。

◎2時間目:「東小立ち上がり集会」

●全校集会をします。校長さんから励ましの言葉や今後の過ごし方などについて話して頂きました。

◎3時間目:学級活動

●簡単な作文を書きました。テーマは「学校にきた感想」です。

◎清掃(教室清掃)

●今日使った教室に感謝と、これから使うことに「よろしく」という気持ち込めて、教室の清掃や模様替えをしました。

教材用具の確認を

★子どもたちと、会話をたくさんして、引き続き気持ちの変化を感じ取りたいと思います。学習については、明日以降徐々に開始したいと思います。

そこで、学習用具の確認をこの一週間かけてしていきたいと思えます。別のチェック表に記入の上15日(月)までに持たせてください。

心のケアを大切に

今週一週間は、子ども達の気持ちを、感じ取り、心のケアを中心に過ごしていきます。不安な事がある場合は、担任までご連絡ください。電話、連絡帳なんでも結構です。お待ちしています。

学校TEL 83- 2361

今週の予定

8日(月)

3限放課、給食なし、
11:30頃下校

9日(火)

3限放課、給食なし、
11:30頃下校

10日(水)

5限放課、給食あり(軽食)
15:00頃下校

11日(木)

5限放課、給食あり(軽食)
15:00頃下校

12日(金)

5限放課、給食あり(軽食)
15:00頃下校

※持ち物については、その都度お知らせしたいと考えてます。

保護者 様

平成16年11月10日

東小千谷小学校
校長 俵山 迪夫

アンケート実施について（お願い）

平成16年新潟県中越地震により、被害を受けた方々に心からお見舞い申し上げます。
新潟県教育委員会では、このたびの地震に際し、児童に対する心のケアのためのカウンセラー派遣を実施する計画であります。心を癒す方法として、カウンセラーによるカウンセリングは効果的と言われています。

つきましては、カウンセリングの基礎資料として、下記のように児童を対象にアンケートを実施します。趣旨をご理解いただきたくお願い申し上げます。

記

1 実施日 11月11日（木）

2 対象者 全児童

3 実施方法及び配慮事項

学級ごとに担任の下で時間を十分に取り「こころの健康調査票」を用いたアンケートを実施します。お子さんの状況に応じては、担任による聞き取りまたは保護者の方からお話をお聞きする場合があります。

結果に応じて、カウンセラーによる個別カウンセリングを受けることができます。その際は、個々にご連絡いたします。

アンケート内容は裏面に載せてあります。実施するにあたり、ご心配なことがありましたら、事前に遠慮なく学級担任にご相談ください。

4 その他 このアンケートは心のケアを行うための参考資料です。個人カウンセリングを受ける場合は担当の臨床心理士にはお見せしますが、それ以外は外部には公開しません。

問い合わせ先

東小千谷小学校 保健担当

なかざわ りょうこ
中澤 良子 Tel 83-2361

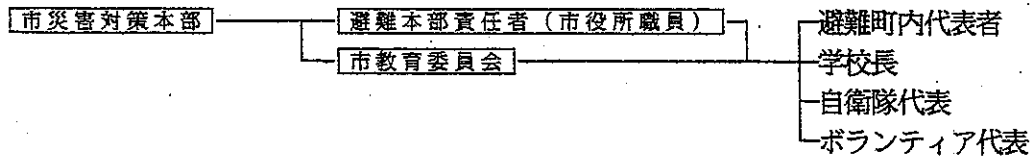
「こちら東小、何でもやります」

— 40日間の公的避難所として—

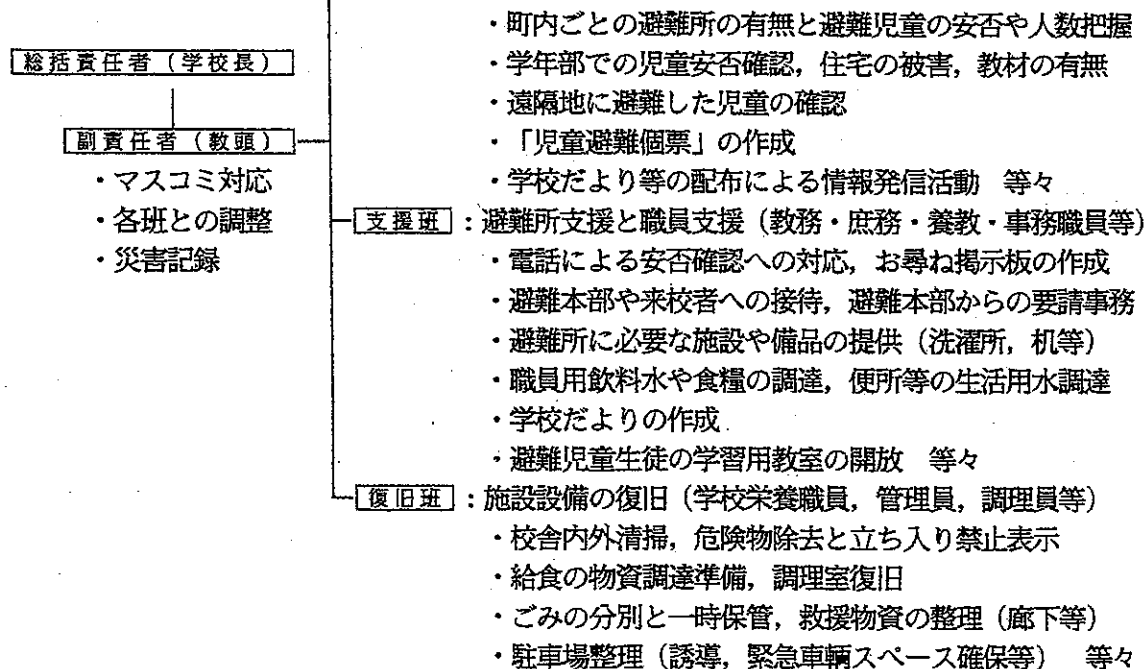
小千谷市立東小千谷小学校 教諭 上村 勤

地震により公的な避難所となった当校。学校職員でありながら、避難所のスタッフとしてどのように対応したらよいのか、本当に試行錯誤の連続だった。体育館やグラウンドには最大で400余名が避難。避難本部が職員玄関内に設置され、様々な業務が必要となった。それらを整理してみると、次のような形に辿り着くようである。

○ 避難所における組織



○ 校内における組織



「支援班」の一員としての一日を再現する。朝。校舎に寝泊まりしている市役所職員に労いの言葉をかけ、避難本部の清掃を行う。夜食のごみも片付ける。給水車から飲料水を汲み、カセットボンベのガスで湯沸かし。プールから便所の流し用水を汲む。視察も含めて来校者も意外と多い。玄関の歓迎看板を書くにも、温かい言葉やイラストを工夫して。

昼。ひっきりなしにかかる「安否電話」。避難者名簿を手に避難所に行き、「〇〇さん、いますかあ」と大声で呼びかける。尋ね人が見付かると我が身のように嬉しい。「先生、こんな文書が必要なんだが……」避難本部職員や町内代表からの依頼がある。当方は文書作成はお手のもの。作りあげた文書を手渡すと、「こりゃいい。」疲れがすうっと抜ける気がする。

夜。校舎内の電灯を全て点灯する「ライトアップ」。仕事帰りや自衛隊の設置した銭湯に通う避難者の足元を照らし、心を照らすのに少しでも励みになれと願う。帰宅前に体育館の避難所を見届ける。猫の額ほどの畳の「居間」。暗い照明の下で懸命にドリル問題に取り組む子どもたち。こんな悪条件にもびくともしない子どもたちの逞しさと健気さに思わず涙腺が熱くなった。

やがて水道が通じ、ガスも復旧。避難所も12月には閉鎖。自衛隊も帰隊。「学校が避難所」という筋書きのないドラマが終わる。数え切れない人々との出会いを体験できた貴重な40日間だった。

後悔と喜びを次のステップへ！

小千谷市立東小千谷小学校 教諭 齊川 澄子

1 地震発生から翌日まで

あの日、午前中は、小学1年生の息子の学年行事があり、親子で楽しいひとときを過ごした。そして午後からは、子供たちを実家に預けて一人美容院へ行き、リラックスした時間を過ごした。普段以上に充実した休日がゆったりと終えかけていた。

「ああ、もうすぐ6時になってしまう。いい加減夕飯の支度しないと…」と、重い腰を上げた瞬間、ものすごい揺れが襲ってきた。とりあえず近くにあった長座布団を頭にかぶり、息子二人に覆い被さるようにしてうずくまった。「大丈夫、大丈夫。すぐ終わるから。」と子供たちに言い聞かせながら、心の中で娘は、夫は…とここにいない家族のことを考えていた。しかし、そのときは、まさか小千谷付近が震源で、子供たちや学校が大変な被害に遭っているなどとは全く予想もしなかった。

翌日早朝、避難先から自宅に戻りテレビで小千谷の被害の深刻さがだんだん明らかになると、心配が募ってきた。しかし、電話もなかなか通じない。10時過ぎに、ようやく同僚職員の携帯に通じたとき、彼は既に学校にいて復旧作業に取りかかっていた。その後、学級児童全員へ安否確認のための電話連絡をしたが、連絡がとれた児童はたったの5名。心配と苛立ちで日曜日が過ぎていった。

2 悔やまれること ～悔しさをバネに～

(1) すぐに学校に駆けつけなかった自分

私が学校へ行ったのは月曜日の朝、道路はどうなっているのだろうと恐る恐る家を出た。学校へ到着すると、教務室は意外なほど片付いていた。日曜日に駆けつけた職員がかなり頑張ってくれたことが分かった。そのとき自分もすぐに駆けつければ良かったと悔やまれてしかたがなかった。「自分の子供を置いては行けない。」「長岡からでは距離もある。」「理由はあっても、つつい自分を買めてしまう。」「悔やむくらいなら迷わず行動しろ!」自分自身に言い聞かせた。

(2) 地震4日後に陥った危機

地震4日後に情けないことに体調を崩し寝込んでしまった。一番大事な時にいたい自分は何をしているんだろうと、無力感に陥った。他の職員たちは子供たちの避難先を訪ね励まして回っているだろうに…思うように動けない自分が悔しかった。確かにあのとき、一年に一回出るか出ないかの高熱が出てタイミングが悪かったのも事実だが、精神的に弱くなっていたようにも思う。4月に赴任したばかりで、いろいろな意味でエネルギーを使い果たしていたのかもしれない。「なぜ小千谷なんだろう。」という思いが駆け巡っていたのも事実だ。しかし、そんなことで崩れてしまう自分が悔しかった。もっと強い人間になりたいと思った。

3 嬉しかったこと ～喜びを未来へ～

(1) たくさんの優しさに包まれて

子供たちの安否確認や励ましに訪ねて行くと、保護者や地域の人から「ご苦労様です。」「わざわざ来てくださってありがとうございます。」「先生も頑張って。無理しないで。」「などとねぎらいの言葉をたくさんいただいた。それが何より嬉しく、励ますつもりが逆に力をもらうことが多かった。また、自衛隊やボランティアの方など、どれだけの多くの人から力をもらっただろう。」「人はみんな優しいんだ。」「普段忘れかけていたことを、震災で改めて気付くことができた。

(2) 復興へのスタート 学校再開の日

11月8日、2週間ぶりに学校が再開。当日は、学級の子供たち全員が揃った。新採用以来の緊張感に胸の高鳴りを抑えながら、子供たち一人一人とハイタッチをして教室に迎え入れ、改めてみんなの無事を喜び合った。「学校は子供が主役」子供が安心して、当たり前笑顔でいられるようにしてあげなければと強く感じた。

「公」「顔」「心」

小千谷市立東小千谷小学校 教諭 中村正人

1 「公」

東小千谷の住民になって8年。忘れることのできない出来事であった。家族と共に避難したあの真っ暗な夜。みんなで肩を寄せ合い恐怖にじっと耐えていたあの夜。学校へ駆けつけてみると校舎の倒壊はなく火の手もあがっていなかったが、非常ベルが鳴り響いていた。上司への報告を終え、早速、地域住民と協力してグラウンドに焚き火をたいた。すると灯りに導かれるように続々と人が集まってきた。要請があり屋外便所とプールを解錠し用足しができるようにした。学校が避難所として動きだした。当初、共用となっていたプールの水を個人的に利用しようとする人がいた。救援物資を勝手に持ち帰る人がいた。年寄りを床の上に、自分は暖かいマットに寝ている人がいた。生活上の些細なことでクレームをつける人がいた…「なぜそんなことを」「あなたは買ってくるができるはずでは」と震災よりも人の身勝手さや醜さに心がまいってしまいそうだった。

震災から3日目の月曜日。ほとんどの職員が出勤し、こんな指導があった。

…厳しいようだが、私たちは公務員である。休暇や所在は明確にすると共に、勤務に当たっては全体の奉仕者であることを心して欲しい…

確かに避難所担当の市職員は、24時間態勢で住民をサポートしていた。今になって思えばあの言葉が私の甘さを正してくれた。

2 「顔」

児童の安否確認に出かけた…道行く人、すれ違う人、作業をしている人が「おはようございます」と声をかけてくれる。同じ境遇を味わったことによる連帯感であろうか、初対面にもかかわらず、道行く先で「ごくろうさま」と言葉をかけてもらう。地域にはこんなにもたくさんの人がいたのかと改めて感じた。

避難所に着くと、児童が駆け寄ってくる。

…児童と会えたら、まず再会を喜び、握手をするなどのコミュニケーションを…

出発前の指導を受けて、一人一人と言葉を交わしていく。日に日に汚れて真っ黒になっていく児童の顔。しかし、その顔からこぼれる笑顔とあふれる言葉がうれしかった。地域の一人として、水汲みや配膳を手伝っている様子が頼もしかった。

帰校すると、逆に私が勇気付けられていることに気が付いた。とてもさわやかな気持ちになった。そこで、私も地域の一人として何かできることがないか考えた。今一番大切なことはフェイストゥフェイス、顔と顔を突き合わせてのコミュニケーションだと思った。それからは、自転車や徒歩で移動するようにした。道行く人に「おはようございます。東小千谷小学校です…」と校区の隅々まで言葉を交わすように心がけてみた。すると地震の傷跡が、そこに住む人が、人の温かさが、フロントガラス越しでは見えない生の生きる姿を肌で感じる事ができた。「先生、昨日自転車に乗っているのを見たよ」「汗だくになってごくろうさま」「こんなところまで歩いてきてくださって…」グッと地域との距離が近づいた気がしてうれしかった。

3 「心」

あれから3カ月。たくさんの救援物資や応援の「心」に支えられ東小千谷は、今まさに立ち上がろうとしている。児童の声が響く校舎、明日の教材研究、気になる給食の献立…普通の生活がこんなにもありがたいものだとは思わなかった。仮設に住むある児童の保護者は「自宅が取り壊されるのを見て家族で涙しました。でも、この子の太陽のような明るい性格で私たちは救われています。」と話してくれた。たくさんのものを失ったり心に傷を負ったりした児童も多い。しかし、感謝の心をもち続けたならば、人は立ちあがることができると思っています。

家族の一員として、教員として、そして…

小千谷市立東小千谷小学校 教諭 恩田千明

1 10月23日 午後5時56分

あの日、私は夫と5歳と3歳の子どもと一緒に、津南町の嫁ぎ先へ戻っていた。私は3階の部屋で一人眠っていた。あわてて2階へ降りていくと、3歳のいとこと一緒に遊んでいた子どもたちは、祖父母と夫と一緒にいたので少しホッとしたのを覚えている。そして、揺れがおさまらないまま、とにかく外へ出た。誰もが、何が起きたのかという恐怖でいっぱいだったと思う。余震がややおさまり、車に乗ってラジオをつけると、「浦柄地区で土砂崩れ…小千谷では…十日町の本町で一人死亡…」本当に、信じられない思いで聞いていた。そして、十日町の実家の母は大丈夫だろうか、学校の子どもたちは大丈夫だろうか、住宅はどうなったのか…どうすることもできず、不安のまま子どもたちを抱いていた。そして、車で夜を明かした。

2 ショック

10月26日(火)。この日、国道117号線が陥没していたため柏崎・長岡経由で小千谷へ。家屋の倒壊や山崩れ、道路の亀裂、傾いた電柱…思ったよりひどい市内の様子に目を見張る。

5階の教員住宅に入り、あまりの惨状にショックを受けた。全く足の踏み場がなかった。もし、あの時、ここに子どもたちといたらと考ええると、今でも本当に怖くなる。

3 東小千谷小学校の教諭として

地震発生から、11月8日(月)の授業再開までは、主に子どもたちの避難場所の確認と様子を見に行くことを行った。最初は担当地域ごとに、その後は学年ごとに行った。また、定期的に学校だよりを持って行った。どの子も、それぞれ地震発生後は恐怖を感じたことと思うが、会いに行くと比較的元気な笑顔が見られたのが嬉しかった。そこで子どもたちと触れ合い、保護者と会話を交わす。また、学級の子ども以外の保護者だったが、車での寝起きが続いていた頃、ずいぶん精神的にもつらかった様子で、それでもたくさん話してくれた。私自身が感じたことだが、とにかく人と会話を交わすことで、気持ちが少し軽くなり、前向きになれる気がした。だから、教諭として行っていたことなのだが、何となく自分自身が励まされて帰ってきた。

4 この震災から学んだこと

この震災で失ったものはたくさんあるが、学んだこともたくさんある。

一つめは、人のあたたかさである。ほんとうに、多くの方からいろいろな形で支援をしていただいた。校舎復旧に手を貸していただいた方、あたたかい千人鍋を作っていただいた方、励ましのメッセージをいただいた方…そして今なお、支援は続いている。いつか、私もこの感謝の思いを、人の力を必要とする方への支援として返せたらと思う。

また個人的には、1か月以上祖父母や親戚に子どもたちを預けていた。これも感謝しきれない。

二つめは、電気、水道、ガスのありがたさである。これらはまさに私たちの生活に不可欠なものである。いかにそれらが大切であるかを実感した。今回の震災で不自由な思いをしたが、今はこれらのありがたさと、大切にしようという思いが以前よりも強くなった。

三つめは、学校職員としての対応である。子どもたちの安否確認とその後の心のケアの在り方。また学校から出された「学校だより」は、今後のために綴ってある。そして、学校再開に向けて「10月22日」に戻すための細やかな配慮など、一つ一つが私の教職員としての貴重な経験となった。

あと10日ほどで地震発生から4か月が過ぎようとしている。

相変わらず私は不平や不満をつい口にしてしまう。しかし地震発生後のことを思い起すと、こうして家族が元気に何気ない日々の生活を送れることの幸せをあらためて感じている。

温かくやさしい東小の子

— 臨時学校だより「うつぎ」 —

平成16年10月25日

東小千谷小学校

このたびの地震災害につきまして、心よりお見舞い申し上げます。

1 東小の様子 (10月25日現在)

- 教室を今、元にもどす作業をしています。窓ガラスや床は大丈夫です。グラウンドや東体育館に避難している市民の人がたくさんいます。みなさんががんばっています。

2 明日からの予定

- 小千谷市教育委員会からの指示により、10月26日(火)からしばらくの間、臨時休校とします。
- 学校が始まるときは、改めて連絡します。

3 情報をお知らせください

- 病院等に入院している子どもさんがおりましたら、学校にお知らせください。
- そのほか、緊急を要すること・相談したいことがありましたら、お知らせください。

4 元気でしっかり温かく

◎子どもたちへ

- かぜやけがに注意し、家族の一員として、しっかり行動してくれることを願っています
- お年寄りの方や小さい子への温かい声かけをお願いします。

避難した
避寄まし
は立ちあ
がしまさ
ぎ員がだ
つ職し等
うにたれ
「といも
のご布知
の所配お
場でら

連絡先

東小千谷小学校
83-2361
FAX 83-2360

臨時学校だより 第3号
平成16年11月2日(火) 東小千谷小学校



このうつぎ3号は、担任が各避難場所に立ち寄り、子どもと握手・会話などをしながら渡します。

地震発生から10日たちました。皆様の頑張りが学校に伝わってきます。勇気がわいてきます。学校が再開したときには、子どもたちが明るくさわやかな雰囲気の中で生活できますよう、精一杯努力してまいります。ご協力よろしくお願ひいたします。

言葉も空気も澄みきって

避難所にはたくさんの方が出入りしていることと思います。町内の人やボランティア、そしてお見舞いの方々など。さわやかなあいさつが実践できるよい機会です。びよこんと頭を下げるあいさつ。「おはようございます」「こんにちは」「おやすみなさい」の朝昼夕のあいさつ。「ご苦勞様です」「ありがとうございます」など周りの人への感謝のあいさつなど。

各町内や避難所全体に子どもたちのあいさつの輪が広がっていくことが、大人の勇気と元気を生み出す源となることを強く願っております。



明日への活力を

「今日も一日、精一杯やったね」という満足感が、明日への活力につながります。「自分がやるべきこと」「家族の一員としてできること」「町内の人に協力できること」「ボランティアの人と一緒にできること」など、一日の生活を見通して、活動をメモし、みることをお勧めします。そして、アドバイスと評価をお忘れなく。

一歩一歩

◇運動で

今の状況からして、どうしても運動不足になりがちです。少しでも体を動かすことで、気分がすっきりするなど精神面のリフレッシュが期待できそうです。

(運動する場所、とれますでしょうか)

近くの友達を誘ったり、なわとびやストレッチ、ウォーキング、ランニングなど、工夫次第で可能なものがあります。NHKラジオ 朝六時三十分からの「ラジオ体操」を利用してもよいですね。

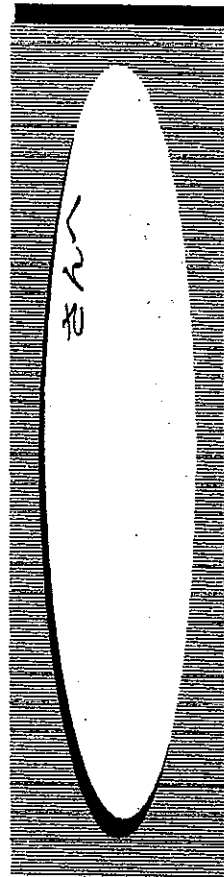
(ラジオ、お手元にありますでしょうか)

◇読書で

暖かい日差しの中での読書をお勧めします。学校では児童用の図書を用意いたします。多少汚れがありますが、ご希望がありましたら、担任もしくは学校へ申し込んでください。担任を通じてお聞かせします。

(静かな学習環境、つくれますでしょうか)

○担任()より一言メッセージ



大事なお小の子どもです

○ 子どもの所在確認を確実にするため、現在の避難所から市外や自宅等に避難場所が変わった場合、その都度、お手数でも学校にお知らせください。また、別の避難場所や市外等から移ってきた場合も同様です。

○ けがや病気による通院や入院の子どもさんがありましたら、お知らせください。

暖かくそして温かく

—臨時学校だより「うつぎ2号」—

平成16年10月28日
東小千谷小学校

このたびの地震災害につきまして、心よりお見舞い申し上げます。

1 休校が延長します。

- 小千谷市教育委員会からの指示により、市内の全小・中学校は、11月5日(金)まで休校となります。
- その後の登校等については、次週の臨時学校だより「うつぎ3号」によりお確かめください。

2 お知らせください。

- 児童の所在確認を確実にするため、現在の避難場所から市外や自宅等に避難場所が変わった場合、その都度、お手数でも学校にお知らせください。また、別の避難場所や市外等から移ってきた場合も、同様に学校にお知らせください。
- けが、病気による通院や入院の子どもさんがありましたら、お知らせください。

3 思いやりのある子、たくましい子に

◎子どもたちへ

- 病気やけがに十分注意し、家族の一員として、しっかり行動してください。
- お年寄りの方や小さい子への温かい声かけをお願いします。朝のあいさつや夜のあいさつもしっかりと。

このうつぎ2号は、避難場所ごとに職員が立ち寄って配布しました。配布もれ等がありましたら、お知らせください。

れんらくさき

連絡先

東小千谷小学校

☎ 83-2361

FAX 83-2360

粉一匙

地震発生から2週間たちました。この間、一日も休むことなく頑張っておられる皆様、心より敬意を表しました。支援により、お陰様で11月8日(月)に地域の皆様や学校関係の子どもたちも明るくさわやかな雰囲気の中で生活できるようになりました。子一杯の努力にまわります。

不便・不都合の中で生活がスタートしたいです。ご理解をお願いします。あせらずに少しずつ少
しずつ、地震以前の学校生活に戻せるよう取り組みたいと考えています。お願
いします。皆様のご協力をお願いします。

11月5日現在、東体育館とグランドには約200名、旭町、山寺、木津、木建田、東栄、元中子の住民が、市内では浦柄、旭町、山寺、木津、木建田、東栄、元中子の住民が、市内では城内、市外からの避難者も数名おられます。

西体窓ガラスが数枚割れました。中ろうかは南北校舎との接続部分に壊れており、校舎壁材がはがれ落ちました。校倉塋材がはがれ落ちるのを防止するために、便所や各教室は、今のところ学校生活に支障ありません。

職員玄関は避難場所となっています。北校舎1階ろは、救急車や消防車の置き場になっています。グランドやグラウンドには、避難者や緊急車両の駐車スペースがあります。前庭やグラウンドは、来校者の駐車場（勤少）となります。

◆地震発生以来、避難住民の自治組織が充実に活動しています。また、10月27日から岩手・埼玉・神奈川県職員が相次いでボランティアとして来校。11月1日には県内外から個人ボランティアも加わり、主として避難所支援に活躍しておられます。

○文化祭は改めて検討します

現在の状況では実施の見通しが立ちません。実施の可否については、落着いた段階で、子どもたちの意向を把握し検討いたします。

○ 個別懇談会は希望望望に
十一月十日から予定していた全校一斉の個別懇談会は中止します。日曜日に開催される保護者のために、十一月十五日日曜、放課後には懇談会の機会を設けます。詳しい案内は後日お知らせいたします。

0 安全最優先の下校に

全校一斉下校とします。安全確保のため、近所同士二名以上で下校するようにします。十一月十日以降は放課後にお子さんや四時半までは学校で待機させたい場合は必ず職員玄関から出入りし迎えをお願いします。その際は必ず職員室に一言声をかけてください。

また、下校先が登校時と違う場合は、お手数ですが都度連絡帳などにて担任にお知らせくださいますようお願いいたします。

① 筆記用具も無理せず
当面は、筆記用具（鉛筆、消しゴム）があれば結構です。用具のない場合は、学校で十分用意いたします。教科書や下り紙の教材が新たに必要の場合は、後日無償で渡します。終ほど各学級で教科書・教材等の確認を行います。

安全のため近所を誘い合ひ、一名以上で登校させてください。路上バスは運行中ですが、時刻が限られていて、一歩行客等送迎する際には十分注意してください。

十一月八日からの登校時刻は、平、常通り（七時四十分）八時十分）といたします。ただし、事情のある場合は、遅延なく、ご担任にお知らせください。また、八日の登校で、職員とボランティアとで、街頭指導に立つ予定

戒煙の

子どもたちが久しぶりに仲間との再会を喜び合い、担任とのふれあう中で、ゆるやかに学校生活にもどれるよう、次のような活動を計画予定です。

○登校 平常通り

… スクールバスが運行の予定ですが、時刻や停留所については後で個々に伝えます。

11月号目次

○学級朝会8:20…健康観察など
○1限 8:30～9:10…学級活動・校内での安全な過ごし方など
○2限 『東小立上がり集会』(西体育館)
9:15～9:55
・黙とう
・校長の話
・避難所の方の話(浦所地区)
・児童代表の話
・校歌斉唱

この集会には、避難所や保護者の方々からも出席していただき、子どもたちも活動を楽しんでいました。集会終了後は、活動観や校舎内外の様子を見ていただきました。きば

○3限 10:05~10:45...学級活動：子ども一人一人と担任との面談や読書、作文など
○清掃 10:45~11:00...自分の教室を中心に行います。6年生が1年生の手助けをします。
○学級集会 11:05...学年だよりを配ります。

○学級終会 11:05～ 学年だよりを配布します。
○下校 11:25～ 下校する際は、交通安全の注意を促す。また、校舎裏のゴミ箱の清掃を指示する。また、下校する際は、交通安全の注意を促す。また、校舎裏のゴミ箱の清掃を指示する。

下校スクールバスが運行の予定ですが、時期等は園々に伝えます。

8日(月)・9日(火)の持ち物は

☐飲料水 (入れ物は何でも結構です)
☐帽子 (紅帽子、安全帽子、野球帽子など何でも
☐内はき (学校に置いてある子がほとんどです)
☐袋 (学年によりなどを入れます)
☐ハンカチ
☐筆記用具 (鉛筆、消しゴム) ※数枚の備忘紙も持参。



11月9日（火）の予定
○登下校の時刻については8日と同じです。

給食なし。3限まで学習し、11:25に全校一斉下校
ス・ワークスの実践や研究については、関係にお任せします。

11月10日(水)以降の予定
 ○ 学校で仲間と一緒に過ごす時間を長く確保す
 ことで、子ども達の心が安定が期待できます。そこで、
 後には活動ができるよう、給食を始めます。ただし、
 資力の搬入等に支障があるため、当分の間、パンやおに
 りなどの献立を考えています。
 ・ 平常登校 4限のあと給食、昼休み、清掃
 ・ 5限まで、15:10に全校一斉下校
 下校スケジュールが運行です。昼食や清掃については別にお伝えします。

地盤地三

地震の経験を生かして

「がんばろう東小！」

すごい地震でしたが、それでも今こうしていられることを皆様と共に心から喜び合いたいと思います。まだ「うづき」を震まわしていただく児童の皆様がしっかりと立ち上がった様子を知らなくて、大変うれしくなりました。これからは一人一人に「明るく・強く・思いやる」心でしっかりと身に付けていたからできたのだと感じています。

突然の災難に遭って大変でした。でもみんなで協力する避難所生活を体験したり、全国からの救護隊や自衛隊の方々の温かい支援を受けて感謝したり、普段ではできない多くの勉強をする事ができたと思います。

今回の大地震の経験を一人一人の大事な宝としましょう。そしてみんなで力を合わせて立ち上がり、すばらしい東小の再生を目指して頑張ります。

東小千谷小中学校後援会長

井澤 敬治

鎮守様の湧き水

元中子にある十二神社は、当町内と旧中子を通り、元中子町で氏神様として信仰されています。町内の人たちから鎮守様と呼ばれています。

記憶によると、鎮守様は大正六年の落雷により消失し、翌七年現在の鎮守様が造られ、九十年近く地域の人の心のふるさととして親しまれています。その鎮守様には横井戸があり、すばらしい地下水が九十年の歳月一瞬も休むことなくコンコンと湧き出ているのです。家庭に水道が敷設される前は、洗濯や野菜洗い等で利用され、女性の良き社交場でした。最近あまり利用する人がなくなりましたが、この度の大地震で家庭の水道が止まったそのときから、長蛇の列ができるほど地域の人はその水を利用しました。そして、一生懸命水運びを元気な声でして、くれたのは子どもたちでした。地震で落ちている大人を元気づけてくれた子どもたちの声と鎮守様の湧きに心より感謝したいと思います。ありがとうございます。

東小千谷小学校同窓会長

岩瀬 稔

東小千谷小学校の避難所で

余震の続く中、四十日が過ぎようとしています。市内の大半がライフラインが復旧していますが、浦郷町内は回復していません。帰宅できず困っています。東体育館をお借りして、百七十一名の方が生活をしております。子どもたちには十分な運動もできず迷惑をおかけしています。

十月二十三日は特別な夜でした。旭町の人々とブルーシートで覆った簡易なトイレをつくることから始まりました。「たき火」で暖を取りながら「自分でできることは積極的にやろう。一人で無理ならみんなでやろう」と話し合いました。

翌日には風谷の方々がグラウンドでテント生活を始めました。寒い冬がやってきます。仮設住宅に入れる日ももう間近と信じています。

小千谷市役所

小見山 昭 (避難所責任者)

地震が発生したとき家にいました。物がこわれたり、落ちたりしました。そのときばかりは初めて地震のこわさを知りました。一日が本当に長く感じました。あのときのこわさはよく覚えています。

ほとくの住んでいる山寺町は、がけの近くの家も多くて、困っている人もまだ多いんです。でも町内の人たちは家を直したり片づけたりして元に戻るようになんげしています。

家の人や地域のひとと一緒にがんばっている。「自分も小千谷市民の一人」だという気がしてきています。

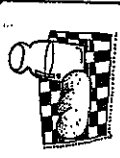
地震にあっただけで、多くの人たちが助けてくれる姿を見ました。今は幸せだということを感じています。そして前よりもずっと学校が楽しくなったような気がします。これから友だちや地域のひとを大切に生活しようとして自分言っています。

(5年 宮 悠太)

給食が口に入るまで、数え切れないほどの多くの人が汗を流します。多くのひと々に感謝し、食べたいものを全て自分の栄養にするため「ゆっくりゆっくり感謝して食べよう」となっています。

もとの形の給食が4日ぶりに12月8日(水)からスタートします。(後日、12月の献立をお伝えします)形は変わっても多くのひと々の苦勞や汗や工夫によって給食が成り立っていることは共通です。

「しゃれたお盆ののった栄養のバランスのとれた東小の給食」がスタンバイしました。それではこれから心を込めて「いただきます」をして「ごちそうさま」を。



6日(月)	おにぎり	フルーツ杏仁	牛乳
7日(火)	焼きそば	パン	みかん

東小千谷のみんなの生きる力

「一歩前を歩く」を
12月1日から3月31日までの4か月間、当校に新たに教員が配置されることになりました。

佐野しのぶ、齋藤政時の2名です。主に学級担任とチームを組む、算数や国語などの教科を中心に、子どもたちの学習を支援します。また、子どもたちの諸活動を通して子どもたちのいろいろな不安を解消することも目指しています。

よろしくお願ひします。



東小千谷小学校より
平成16年12月3日

今までで最も経験したことのない大きな地震が小千谷市内を一瞬にしてパニックにしました。その夜からライフラインはとたえ、道路や建物、田畑と被害は調査が進むにつれて深刻なことがわかってきました。

不安な一夜から朝を迎えたわたしたちの目に映ったのは、復旧作業や災害支援にかけつけられた自衛隊、警察、消防等の人たちです。その人たちに勇気づけられたり支えられたりしながら、今わたしたちも少しずつ元の生活を取り戻しています。

こうした支援への感謝の気持ちを胸に一日も早く以前のようない「すてきな街“小千谷”」になるよう一人一人力をあわせて立ち上がるとき、それは今です。

(5年 関口 優)

新潟県小学校長会では、この度の地震による被災地の学校の子どもたち、並びに教職員への支援のため「学校支援」に取り組みすることになり、11月25日より事業がスタートしました。

当校へは、11月29日(月)から12月17日(金)までの3週間、上越市立の小学校から毎日1名の支援をいただくことになり、現在進行中です。主に低学年を中心とした学習支援、給食・清掃・遊びをとおしての交流、下校時の担任の補助等です。子どもたちの笑顔が随所に見られ喜んでいくところです。

大町(山本浩昭)、東本町(廣井弘敏)、国府(高田美智子)、高志(高倉芳行)、春日(牧井宏美)、大手町(阿部 勉)、春日新田(笠原賢一)、八千浦(弓納持 豊)、南本町(平栗奈美)、高田西(添谷金勇)、保倉(須藤志雅子)、高士(樋口 茂)、飯(小林克樹)、黒田(野口真由美)、直江津南(阿部忠徳) 一敬称略 来校願ひ15校、学期末の極めて忙しい中、東小千谷小まで足を運んでくださるみなさんと、派遣校の学校長様から感謝申し上げます。

地震後、ホットブレッザにひびきました。揺れによる不安、緊張、寒さの中、地域の人全員で動員して過ごしました。自衛隊の人や夜遅くまでガス、電気、水道の工事をしてくれた人にお礼を言いたいです。

ほくも家族の手伝いや地域の手伝いはもちろん、大きな声であいさつし、すべての人が元気になるようにしたいです。

(5年 渡邊 宏記)

[illegible]

震災による110日間の臨時休校。今年度、子ども達の確かな力を育むために、家庭、地域、関係機関の皆様の深いご理解と温かいご支援をいただき、取り組んでまいりました。改めて、お礼を申し上げます。

重点目標1：問題意識をもち、進んで取り組み、自分のものにしよとするとする子ども
【結果】1月に実施した学力検査は国語が101.8(全国平均を100)、算数が99.8
(同)で、目標の102には一歩及びませんでした。アンケートによる子どもの学
習満足度は89.5%で、目標の70%を越えました。
【課題】話の聞き方などの学習規律が十分整っていない・学びの途中で集中力が途切れる
などの傾向が見られます。「東小学びのきまり」の徹底とともに粘り強い学習態度
や家庭学習を習慣付ける必要があります。

重点目標2：思いやりや心をもつて行動し、共に助け合いながら学校生活を送る子ども
【結果】アンケートで「学校が楽しい」と答えた子どもは92%で、目標の70%を越えました。
【課題】心ない言動やわがまま、極端な自己主張が時折折見られます。今後も、学年学級内での集団行動、上・下学年の縦割り集団活動、心に響く道徳学習などを通して、相手を思いやり励まし合う心の大切さに気付かせざる必要があらわれます。

重点目標3：仲間や家族と共に継続して健康づくりに取り組む子ども

【結果】 全国平均を上回った体力テスト種目は中学年で8割、高学年で5割。握力、上体起こし、50m走が劣ります。歯磨きなどの衛生習慣は親子で取り組み、成果を上げつつあります。

【課題】 運動に親しむ子どもとそうでない子どもの「二極化」傾向があります。衛生習慣は子どもでも同土や親わねを手だててを粘り強く講じていく必要があります。

重点目標4：町内や地域の一員として、自分なりのためであって活動する子どもも選んで町内の人とかかわり合うことの大切さを学ぶが多かったです。3回の地域新聞作りを通して、住民としての意識が高まりが感じられました。

【結果】

【課題】

地域での生活科や総合学習を通じ、具体的な言葉の交わり方などが必要があります。

・年間を通じて子どもたちのための図書館運営に力を貸して
ていただきました。読みに関心をもち、その本の価値をわかってもらい、
・「おはなしのくに」を開設していただき、もっと回数が増えたいと
思っています。」と有り難い言葉をいただきました。

・地域活動アドバイザーとして町内子ども会に参加のPTA
から推薦され、副委員長。一歩ずつ進んでいくことが、近頃
の数々に子どもたちの目と耳は真剣。

・夏休みの水泳教室のボランティア。一バツと思ひ、泣いて。
そう思うその調子で、一バツ。中のマンツーマン指導で、子ども
たちの泳力はじわりアップ。

0 こころな () も

・北海道別海町からの牛乳とヨーグルトの支援物資。格別立
ました。味しきさは格別。一口一口じっくりと有り難うございました。

・中川ひろたかミニコンサート(11月19日)。歌あり、ギター
あり、ピアノあり、ダンスあり。一歩ずつ進んでいくことが、近頃
しんでいる子どもたちの姿はなかなか。

・介護老人保健施設「水仙の家」を訪ねた五年生。ある人
所習のおばあちゃんは一孫が来てくれたことと大変喜びました。帰りに
いつまでも玄関前で子どもたちを見送っていました。

・「使い古しですが」と大層の中、わざわざ学校までタオル
で作った雑巾を寄付してくださった地域の方。

・鉄棒の達人(剛澤久雄)によるボランティアの鉄棒指導。
あつと驚く大技。小技。手に豆も何のその。六年生の技を見
て、他の学年にも鉄棒フアンが少し増えたようです。

・地獄のせいか、師年になく多かつた教員用のストロップの不
調。修理に行き回り管理員。慣れた手付きで無事点検。子ども
にもたちから一ありがとうございまして。とのお礼の声が教室
に響きました。

・東小教育の特色の一つである地域の大手つき。「まさしく
多くの方々から受け入れられ、子どものキャッチアップの場となっ
たり、小さなかけこみ、子どもたち一人一人の心に、より深く
より丈夫に、構へにより多くの人とかけられることを願って、無
らず、一歩一歩苦闘を繰り返して参ります。

所が「井の中の蛙大海を知らず」とい
 う。この度、卒業見習と購買に對する
 普段、購買の氣の付かない視點から
 一 つ の 「 気 力 」
 卒業生の皆さん卒業おめでとう。
 立派な小を築立つた。卒業は今年で初十
 立派な中學生になつて下さい。先鞭方に負けな
 一 元氣を出そう
 二 勇氣を出そう
 三 胆氣を出そう
 四 根氣をもとう
 五 志氣を忘れずに。中学校での
 活躍を期待しています。
 (三月十六日の同窓会入会式で
 是後後同窓会会友から)

よ、とかく身内に対しては長所や短
所に寛ぐ。メッセージをいただきました。
大いに参考となりそうです。

東小の地声

で今年度、四月から毎週木曜のみ東小
を最初校舎にしています。お分らない点
を尋ねると、どの職員も自分の手を休め
てくれることでした。学校全体がとてもい
くつかの理由で、学校の全丁場面に驚いて
います。「ときどきさくら」（新一年
生一日入学生）、「ドリムタイム」読書（一
年生）、「会」二名はなしのべや読書（二
年生）など、二コニクで楽しんだ
ネーミングもすべて変更されました。

(中) 東小、小千谷小学校より

真珠の味

○ 子 じ と も の 打 うち す ① ② ③ です。

・登校時、調理員に出会った子ともたち。「今日も給食が
ばってねえ」と一言。小さな元気をもらう瞬間です。

・交換活動中の自衛隊や上越教育大学生ボランティアに聴
てもらおうと、音楽の時間、教員の惡を聞け放つて、校歌
『どりーア』を演奏。大きな拍手をいただきました。

・「昼休み遊ばうねー」週く離れた北校舎と南校舎の惡遊
ジバールや鬼ごっこに同じ遊ばる姿が見られます。休み時間、ド
に伝える「連絡カード」。「今日は○○があつたよ。早く回
くなつてねー」手書きのメッセージを休み時間など寸暇を惜し
んで書く子あり。

・卒業式の音楽伴奏を担当する五年生六名。「うまくいか
いとこがあるのって、今日も練習したいです」と昼休みの結
別練習を申し出ました。

CULTURAL FRIENDSHIP

3学期最終週。新鮮な企画を取り入れた諸活動を。子どもたちが感動を味わわせ、新しい学年への期待と意欲をもたせたい――。

この度被災地の激励のために来日したアメリカ・オレゴン州の12~14歳の少女8名とその保護者4名。22日(火)・23日(水)にこの人達を迎え、言葉や文化や生活習慣の異なる国の人々と一緒に年度末の諸活動を楽しんでいた。

感性豊かな子どもたちにとって、片言の英語や身体表現を通して外国人とコミュニケーションを取ることとは、視野を広げると共に、一つの刺激となることと待っています。

オオレ工州女子生徒の感想を紹介いたします。

◆教室のみんなが明るくて、しかも親切でした。一生懸命学習をしていました。絵を描く学習でしたが、みんながとても上手でびっくりしました。

◆給食の準備が慣れなくて大変でしたが、みんなが進んで手伝ってくれて助かっていました。グループのメンバー同士の手ワークがないなあと感じました。給食が珍しくておいしかったです。

(ケイティ、ノエル)

◆ 普段、私たちの学校ではありません。珍しくておもしろかったです。今度、オレゴンの学校でも今日のようにやってみたいと思います。(ブリアナ)



オレゴン州の女子生徒と学習等で交流した5・6年生の感想です。

◇漢字をいくつか知っていて、色紙にちゃんと書いていたので驚きました。聞いたら、日本語の学校に通っているそうです。
(6年生女子)

◇ 小千谷の地震のことがかかって、はるばる来てくれたのであります。日本語で少し会話が通じました。（五年生女子）

東山女子学校
No.25平成17年3月23日
おひる

No. 25平成17年3月23日

今年度、隣の小千谷高校の女子生徒が、当校の運動会にボランティアとして参加し、また一学期の終業式では吹奏楽部のダイナミックな演奏を聴かせてもらいました。小千谷高校との交流も足かけ六年となります。教室での給食交流も時々行っています。

高校の体育祭では、五年生が見学を兼ねて学級パフォーマンスの審査員を、さらに六年生は学習活動を見学し、生徒の真剣なまなこに、高度な学習に真剣に打ち込む姿勢に感動を受けて帰ってきました。このように、小千谷高校からは、年間を通して新しい刺激をもらっています。小学校と高校との日常的な交流は全国的にも珍しく、小・高ともその効果は計り知れないようです。

さて、去る三月四日、谷高卒業式に五年生六名が参列しました。

「さすがに高校生だな」と思ったことは、卒業生の入場の様子を見たときから。隣の人ときらみ並び、足並み揃っていました。それに、在校生の席からは話し声が聞こえてきませんでした。

次に感動したのは在校生と卒業生代表のメッセージです。在校生は、学校生活のいろいろな場面で遊んだり、悩んだりしたときに卒業生から助けてもらったことを、卒業生は、三年間共に助け合いながら支え合った同級生や後輩、常に温かく見守ってくれたその他の人々への感謝の気持ちを述べていました。

小千谷高校の生徒の堂々とした姿、私たち小学生の胸を「ジーン」と熱くさせてくれた感動的なメッセージ。小千谷高校生の皆さん本当にありがとうございます。(参列児童の声から)

卒業式でのきびきびと動く姿を見て帰り、「自分たちの生活に生かしたい」と思った子どもたち。互いの感謝の気持ち(送辞、答辞)に感動した子どもたち。今回もまた一つ、東小の子どもたちは、「生きる力」の一つをもらったようです。



東小千谷小学校・学校だより
平成十七年三月九日(水)

No.24

「こころ」の成長に

心にひびく

子どもたちは「あかり」

「おはようございます。」一年教室の戸を開けると、

「どこから来たの。」「なんという名前？」すぐに子どもたちが近寄ってきてくれました。

「抱っこして。」「こっち来て。」

せがまれば、担任の手伝いをしながら、子どもたちの様子を見てアドバイスをしたり、ノートを見て丸付けしたり.....

中越地震から明日で四か月という2月22日の訪問でした。校舎内には、まだ地震の爪痕があらにみられます。でも、子どもたちは、素直で人なつこくす、明るくて元気です。きつと東小の子どもたちは地域の「あかり」なのだと感じました。

逆に私が元気をもらって帰りました。

(柏崎市立紀伊小中学校 鳥越弘之)

(柏崎市立新道小学校 佐藤 信子)

街に見えます 花の迎え

卒業式まで後わずかとなった三月三日。卒業生への感謝の会「サンクスフェスタ2005(六年生を送る会)」が開かれました。児童会を受け継いだばかりの五年生が中心となって初めて企画・運営したものです。

「成功させたい」という願いと「喜んでほしい」という思いの中で取り組んでいたようです。

仲間づくりを

ゲーム進行役の表示する数と同じ数で仲間づくりをする「ふれあいゲーム」が始まりました。
○ 低学年児童に「仲間になろう」と積極的に声をかけている卒業生の姿
○ 仲間になれない子どもはいないだろうかという思いのこもった卒業生の姿
「できるだけいろいろな人と仲間づくりをしよう」と思っていた卒業生は驚いてくれました。

六年前が

卒業生が選んだ小学校生活の思い出のベスト6。四メートル四方の大きなイラストで紹介されました。入学式の思い出を「六年生に手を引かれて入場しました。とても緊張したことを覚えています。でも楽しい思い出でした。」と卒業生代表が話しています。

東小の伝統とも言える新入生を迎える温かな雰囲気、六年経った今も鮮明に心に残っていたのでしょうか。

新しい企画を通して

全校児童、保護者、地域の人からメッセージを書いてもらった千羽の鶴で描かれた大きな虹の絵(下の写真)。参加した地域の方を含めて「おお・・」という感動の音が響きました。企画した児童にとつてうれしい瞬間ではなかったでしょうか。東大通を歩く人、商店の人、小千谷高校の教師、卒業生など、六年生にゆかりのある地域の人からのビデオレターも紹介されました。

新しい企画。成功するかどうかわからない不安があったと思います。しかし、時間を惜しまず、休み時間返上で下級生をリードしながら取り組んだ五年生。会が進むにつれて、企画を進行する五年生児童の顔に喜びとゆとりの笑みが輝かなくなりました。毎年恒例のこの行事。最上級生を目前にしている五年生にとつて「やればできる」という自信につながり、財産にもなっていくようです。



がんばれ、こども学年!



新潟市立紀伊小学校 小出 和代
(3・4年生時の担任)

[illegible]

明日味之花術の中
 予自 賜 2 行る め 後手 ンうよ ぱり 職 を 預

[illegible]

田の作りの方

[illegible]

一年の成長を感じて

[illegible]

たようならぬありがとうの事。

[illegible]

本書の巻を

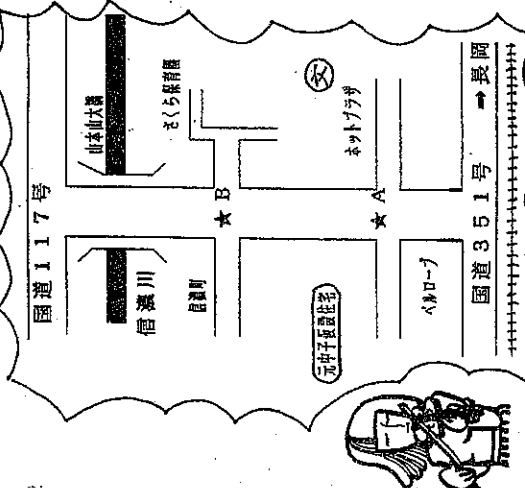
[illegible]

全力投球

した。中十號二
て勉三がは二
は強人三が歳月
しにな年と三
い大わ生まで
と忙けの。まは
願しで高。まは
つ、校失すデ
つ時今人敗。ス
い期は等祈ト
まで生試るン
すも徒強と合
。ありと最格
（一）小ま二で
千谷。はに生
十谷。とはと。三
高。とにせと。年
等のもの。年生
の生。年生は、
校徒強月んは、
寝も費月んは、
醒時二必学
始な期回年学
木全でであり
来力ありま、の
一をり。すま
くま。た。試

東小千谷小学校 学校だより

No. 24 平成17年2月23日



未然に防ぐ 眼と耳で

近、学校現場で次のような死傷事件・事故が発生したところととまっています。

○見聞 大阪府寝屋川市内の小学校3年生が、雪のたまったプールに落ちて凍死。3名を殺傷したとして逮捕された。

まずもって、「学校は安全で安心できる」ところでなければなりません。東小では、事故を未然に防ぐために防衛を講じているところと、万が一事件に遭遇した際の被害を最小限に食い止めるために、事後で安全な場所に避難した際の被害を最小限に食い止めるために、東小では、

◆施設と来校者「チェック」
昨年5月以降、登校時とともに見学・下校時に職員が児童・生徒を見守っています。

[illegible]

校舎内外に「目配り・気配り」

[illegible]

つぎ

東小千谷小学校・学校だより・第二十二号

平成17年2月14日



一つ一つに思いを込めて

今、校内にはたくさんの千羽鶴が飾られています。千羽鶴は「病気の回復」を願って贈られたり、スポーツの試合の「勝利や健闘」を祈って贈られたりします。今回の地震被災地の学校に贈られた千羽鶴の一羽一羽にも、「地震に負けないで」「体に気をつけて」などの願い、祈りなどが込められているものでもしょう。千羽鶴、寄せ書き、花、物資、慰問、ボランティア...。今も全国から多くの面々が届けられています。感謝の気持ちやこれからの決意を込めて一つ一つの支援に返事を書き送っています。

愛知県	京都府	大阪府	大分県
名古屋市中区立極楽小 岡崎市立生平小	京都市立川岡小 宇治市立田端小 宇治市立高田小 大口市立羽月西小	神戸市立東町小 神戸市立福池小 神戸市立藤小 神戸市立蓮池小	白井市立志生小
福岡県	奈良県	兵庫県	香川県
糸田町立糸田小	奈良市立済美小	神戸市立古蔵小	香川県立古蔵小
岡山県	広島県	山口県	徳島県
岡山市立立元小	大野町立大野東小 広島市立中野小	下松市立深浦小 下松市立中村小 下松市立東陽小 周南市立富田東小	徳島市立立元小
近畿大附属小	奈良市立立元小	徳島市立立元小	徳島市立立元小

(17.1.31現在 西日本地域)

新しい朝

「是非読み聞かせをしてあげなさい。本好きな子どもになることが多いですよ」よく聞く言葉です。東小では、八時十分から二十分間、朝の読書・学習の時間を設けています。近年、朝読書は全国の多くの小・中学校で実施されています。わずかな時間でも読書に時間を費やすことで、学習への心算ができて、集中する意欲も生まれるようです。読む、考える、想像する力の向上にもつながる読書の時間の確保は、子どもだけでなく、現代に生きる大人にも必要な時間と言えます。

リサイクル(再利用)リデュース(減らす)セイブ(保護)といった言葉を聞くことがあります。地球の環境を守ろうとする運動の中心的な取組です。東小では社会科の学習から節電を呼びかけたり、ごみの分別を呼びかけたりしてきましたが、近頃、ごみの分別が徹底しないという声が増えてきました。ご家庭でもごみを収集場所に出すときになって分別し直すということはないでしょうか。東小ではごみの種類毎に袋分け、また環境委員会の子どもたちも全校に正しい分別を呼びかけています。最終分別を手伝ったりもしています。しかし、最終的には管理員の仕事になることが多いのが現状です。ごみがどのように処分されるかを知つたうえで、ごみをきちんと分別すること。これは今の時代の「生きる力」の一つと言えます。物が量か時代は、次の世代のことも考える子どもたちを育てたいものです。

感謝の気持ちを込めて!

食べることは誰にとっても大きな楽しみの一つです。避難所やテントでの食事、シンプル給食から完全給食。食べることに特感を感じることが少なくなつたか。給食の体験が「毎日3食食べられる」ことの喜びを感じてくれることになつたのでしようか。東小では、毎年1月に給食週間を設けています。55年目を迎えました。卒業を控えた6年生から東小の給食について意見をもらいました。(下記の文は子どもたちのいくつかの提言をもとに構成したものです。)

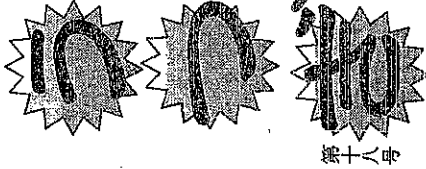
- 今まで給食の献立をわたりが考へる機会がありました。毎年、学年で一回考へますが、とても楽しかったです。そういう機会をもつてほしいと思います。また、ご飯に具をのせた献立も食味がわいてきます。もっとご飯をたくさん食べたいと思います。
 - わたしは麺が大好きです。特に中華麺のお汁に入っている具や汁の味が気に入っています。残念なのはおいしいお汁の量が少なく、麺が十分に浸りません。汁の量を増やしてほしいと思います。また野菜はもう少し味を濃くしたほうがいいです。
 - スーパーマーケットに行くと、惣菜売り場にいろいろなサラダが売られています。わたしは野菜を使ったサラダが大好きです。学校でもいろいろな味のサラダを食べたいです。また野菜はもう少し味を濃くしたほうがいいです。
- 子どもたちの提言(要望)の中に、調理場で600名の給食を作る調理員に対する感謝の気持ちが添えられたものもありました。食べることのできる喜びとともに、食材の生産者、それを運ぶ人、配る人への感謝の気持ちも忘れず子どもたちも育てていくことも我々大人の大切な役割です。
- 「東小の給食は本当においしかった」これも6年生へのプレゼントの一つです。これから生涯にわたる「食」について、自分のこととして考え続ける子どもたちになってほしいと強く願っています。

大人は子どもに対して時間がなかつたり、ゆとりがなかつたりすると「黙って仕事をしなさい」「おしやべりしては手は動かないでしよ」というような言葉が出てしまいがちです。子どもはどんな気持ちで聞いているのでしょうか。東小では清掃のときの「黙動」を指導しています。全国とこの学校もまず同じでしょう。自分の使う場所、みんなが使う場所をきれいにすること、自分の学習や生活環境をよりよく保つていこうとする思い、や「働きの心」を育てることを目指しています。「黙動清掃」を実践するためには、まず、ほうきや雑巾の使い方が分かつていること。次に、自分がすべき仕事の内容とその手順が分かつていることが挙げられます。このようなことが子どもに理解されていないで「黙ってやりなさい」ではどうしてもしようもないのです。そして、子どもたちに、ねぎらいの言葉がけや満足感を得させることも大切にしてほしいことです。「黙々と清掃や作業に取り組む」これは子どもも大人も共同生活における共通課題と言えるでしょう。

天候が悪くなつたり、気温が低くなつたりすると、休憩時間に廊下や階段で遊んだり、たわむれたりする傾向が多くなります。理由の一つに体育館が混み合つたり、気温が低いところを避けたりすることからでしょう。この学校でも同じようです。先頃、階段でおつかつた勢いから転げ落ちたり、廊下の曲がり角で、出会い頭にぶつかつた例がありました。幸い大きな怪我にはあたりませんでした。「廊下は遊ぶところではない」「静かに歩こう」と呼びかけていますが、これがなかなか長続きしません。明治以来の学校の課題の一つとして今も残っています。大人が常にきちんと右側を歩くこと、走るとなれば危険なのかを、わかりやすく例を挙げて繰り返し子どもに話をすること、休憩時間に有意義に過ごすことのできる場所の新鮮な情報を伝えることが大切と考えています。明治以来の改革となるのかどうか。

よって学年をいくつかのグループに編成した学習も考えていきます。

東小千谷小学校だより



第十八号

平成16年12月17日

勇気を与えてくれた一つのリンゴ

先日、五年生の孫が学校から帰るなり「地震の見舞い」として秋田の人からリンゴが届いたよ」「今食べたい、半分食べて、半分は夕食のサラダに入れようよ」とリンゴを見せしてくれました。手紙が添えられていました。何と心温まる文面でしょう。まさにその通り。

私共老人は今までの経験を生かし、また役に立つようにながめられます。で、少しだけ若い人に手助けしてほしいときもあります。

父母の方、また大きな孫が来たときは、そばにいらして子どもを抱きしめてやってください。一番安心できる方法の一つです。

一番大変な立場にいる若い人、世の中がよい方向に向かうため、あなた達の力が必要です。

子どもたちをあのときの恐怖がずっと心に沁みこんでいることでしょうか。

あのとき書を書いたばかりで書いたことを思い起こせば、いやなこと何のその。友達を多く作り、勉強、運動にがんばりましょう。

東小の子どもです。
みんながあなたです。
がんばれるはずですよ。

一つのリンゴが何倍ものエネルギーに
十郎リンゴとその仲間らに感謝

伊坂 千代子

先日の「おはなしの部屋（朗読）」（廣井洋子さん）で子どもたちのリクエストに応えたお話から――

昔、あるところに、なかのいい ととさんと かさんがすんで おった。

あるひ ととさんの はらが いたくなつたんだつて。

そこで かかさんに いった。
「かかさん かかさん、はらが いたくなつたらん。どうしたら いいかのう」
「ととさん ととさん、おくらのおしよさまにきいてみなさうと いい」
かかさんに そういわれてな、ととさん おてらに かけていっただ。

「おしよさま、おしよさま、はらが いたくなつたらん。どうしようかのう」
ととさんが そう、いうたが、おしよさまは「ととさん ととさん そりやなあ、はらのなかに かしらおるせいじや。かえを のむと いいぞ」といっただ。

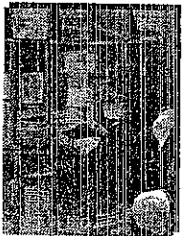
そこで、ととさん かえををつかまえてな、べろつとのみこんだ。

するとかえが はらのむしをくつたので、はらが おおつて、ぐあいがいい。でもな、かえが はらのなかにべたらべたら あるく。きもちが わるくてたまらん。

「かかさんやあ」
「おしよさまにききなせられ」

さてこの話とん
な 結末になること
やら。

『かえををのんだ
ととさん』という
話の一編です。



「千谷駅から旭橋」 優しい声から、心から



12月20日（月）～22日（水）、24日（金）、1月7日（金）には白根市・中条町の小学校から「学校支援」の教員が毎日4人来校いたします。中・高学年の学習支援、給食・清掃・会話を通しての広角的な心の交流を中心にお願ひしてあります。子どもも担任も首を長くして来校を待っているところです。

白根市から
・新谷 由・志賀昌和
・根 岸・佐々木静香、桑野重人、田中隆一
・小林 林・堀井 健、長谷川文亮
・小 笑・北澤 望・最原望博、佐々木啓介
・北澤・中条町から
・葉 地・池田正徳

（順不同・敬称略 ゴチャクは過去に東小に勤務した人です）

・苗 井・上橋 深、齋藤雅代、青木英康、小島千浩
・白 根・山田博之、長谷川 尚、蒲井千賀子
・住 瀬・島田敏夫、松谷健次
・笑 遣・熊倉祐之

指導力抜群のみなさんが続々来校し、とても助かりました。わずかな時間で、子どもにもどう接すればよいかわくわくもしてもらい、傍らで優しく寄り添い言葉かけられたことは子どもたちの大きな喜びであつたようです。体幾度となく励ました言葉や適切な言葉をかけられたことは子どもたちの大きな喜びであつたようです。体育では評価を手伝ってもらいました。休憩時間にはもつぱら子どもと一緒に遊んだり、鉄棒を教えてもらったりしていました。まさに、2人目、3人目の担任となりました。このことも子どもたちは大喜びでした。「一緒に鬼ごっこしたよ」「鉄棒を教えてもらつたよ。少し上手になつたよ」など、喜びの声が毎日わたしたども担任に届きました。本当にありがたうございました。またどこかでお会いしたときに、子どもたちの成長が伝えられるよう精進いたします。

（1、2年担任一同から）

新潟県小学校長会からの「学校支援」として、11月29日（月）から12月17日（金）までの15日間、上越市の15の小学校の教員の応援をいただきました。早朝の出発から夕刻までの長時間、東小の子どもたちのために、きめ細かな支援をいただきました。教室でそして体育館でじっくりと1、2年生の子どもたちと密着してもらい、その結果、心からの「笑顔」が随所に見られたことをとても喜んでおります。

各校の学校長様に特段のご高配いただいたことに深く感謝申し上げます。本当にありがたうございました。

一学期も残すところわずかとなりまし
た。この時期、身に付けさせたいことを重
点的に指導しています。

「落ち着いた話を聞く」ことを大切にし
ています。人の話をしっかりと聞き、相手の
ことも考えて行動できるような一年生を
目指しています。

目と耳と心の三つを使って話を聞く態
度の育成。このことによって引き締まった
学級になることを期待しています。

（一学年）

相手の思いや気持ちを意識させていま
す。話を聞くときは顔を見てしっかりと
「集中して」話を聞く。友だち間で問題が
起こつたときは「相手の気持ちを考える」
学習では、めあてを確認し合う場面を大
切にしています。学校生活の中で互いに
「自分たつたらどうなのかな」を考えさせて
います。

（二学年）



当番の仕事、学習の準備など、「やるこ
きこと」をきちんとやるようにしていま
す。

四年に進級する前に、学習面や行動面で
自分は「どう成長しなければならぬか」
を考えさせています。

（三学年）

友だちの肉面に目を向けて「良いところ
を褒める活動」に力を入れています。係
り活動など、様々な場面で友だちの優し
さ、輝きに目を向けてさせています。

それらを、学級全体で共有できるように
紹介の機会を設けています。さらに活動が
活発になつていくよう支援します。

（四学年）

一学期は「相手の気持ちを考え、人と接
し、進んでコミュニケーションをとる」こ
とに重点を置いて、他校との交流の機会を
多く計画しました。

今後もコミュニケーションを図るため
に、まず「あいさつや返事」大切にしてい
ちんとできるようにします。（すずらん）

給食や掃除当番など「自分の分担」がわ
かつてきました。

これから、何をすればよいか考える時
間を確保して、活動内容が理解できるよう
に励みます。（たんぽぽ）

十二月は一年の締めくくり、そして二学
期の締めくくりでもあります。それぞれに
めあてをたてますが、この時期になるとめ
あてが何であつたか忘れがちなります。

五年生は「めあてを意識して」を合い言
葉にしています。朝の会、帰りの会に時間
を設け、声をかけています。（五学年）

・自分で考えて判断すること。
・自分の言葉でしっかりと伝えること。
卒業文集は、「自分をしっかりと見つ
め」「文章を書くこと」に力を入れています。
また、「あいさつや返事なども含め」「仕
つくり」と話すことを意識させています。
自分の考えを相手にきちんと伝えること
が中学校進学を控えた子どもたちに今こそ身
に付けさせたいことと考えています。

（六学年）

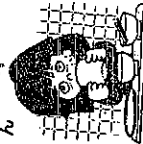
(たんぽぽ草紙)



No.13 平成16年11月16日

学校が再開して1週間。ご家族の間では様々な話題が出てのこと...。子ども達も、友達のこと、遊びのこと...。丁寧に受け答えが少なくなっている。子ども達の心が少なくなっている。子ども達の心が少なくなっている。

- ああ、学校給食の味
- | | |
|--------|-------------------|
| 十五日(月) | 牛乳・ライパン・みかん |
| 十六日(火) | 牛乳・焼きそばパン・オレンジゼリー |
| 十七日(水) | 牛乳・おにぎり・チーズ |
| 十八日(木) | 牛乳・レーズンパン・ヨーグルト |
| 十九日(金) | 牛乳・チョコチップパン・みかん |
- パンやおにぎりは衛生面に配慮して、一人分ずつラップやケース包装をして、各教室に運んでいます。



疲れますネ「頑張れ」は

今までの状況で、子どもたちにも耐えられなくなっている。大人は頑張れ、子どもは頑張れ、という言葉を聞かされる。子どもたちは、大人が頑張るのと同じように頑張らなければならない。でも、子どもたちは、大人が頑張るのと同じように頑張る必要はない。子どもたちは、大人が頑張るのと同じように頑張る必要はない。

学校再開初日、子どもたちは「頑張ろう」と思っていた。でも、子どもたちは、大人が頑張るのと同じように頑張る必要はない。子どもたちは、大人が頑張るのと同じように頑張る必要はない。子どもたちは、大人が頑張るのと同じように頑張る必要はない。

こんな状況だからこそ、子ども達の目線に立った対応が必要ではないでしょうか。子ども達の目線に立った対応が必要ではないでしょうか。

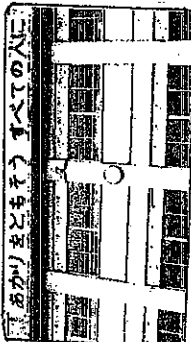
あたり

心を照らす

日暮が早くなくなり、夕方5時を過ぎると辺りは暗々となります。東小の校舎内外で生活する子ども達も、明かりを頼りに移動するようになります。学校再開の前日(11月5日)から校舎内の壁掛けライトアップを行っています。子ども達も、明かりを頼りに移動するようになります。

地上25mに

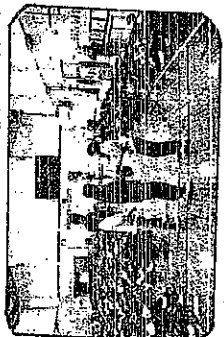
東小には毎日多くの人々が訪れます。避難所を運営する市職員や物資の運搬に携わる人、家族を訪ねてくる人、入浴施設を利用しに来る人など、数多くの人々が訪れます。子ども達も、明かりを頼りに移動するようになります。



ゆたかりと

十一月八日(月)から、東山小学校が東小と一緒に学校生活のスタートを切りました。一つの学校が一つの校舎に入ることです。したがって、教務室や校長室、一年から六年までの六つの教室は別々です。休み時間などには両校の子どもたちが入り交じって活動する場面も出てきます。

子どもも職員も、両校がペアになる形で向かい合って並び、座間減一(さませいいち)東山小校長と俵山校長とが交互に職員を紹介。そしてニッコリと握手。最後に児童全員が「よろしくお願ひします。」と挨拶を交わして集会を締めくくりました。



狭いながらも

子ども達も職員も、両校がペアになる形で向かい合って並び、座間減一(さませいいち)東山小校長と俵山校長とが交互に職員を紹介。そしてニッコリと握手。最後に児童全員が「よろしくお願ひします。」と挨拶を交わして集会を締めくくりました。

明日の意欲

いつ、どこにいても学ばなければならないことが、今の環境の中で「子どもに何を学ばせるべきなのか」「どこで学ばせるのか」ということを考えることは大切なことだと思います。

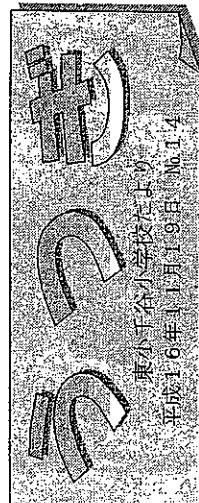
震災後、大勢で助け合うことや、家族の大切さ、友だちと会えなかった物足りなさ、学校に通えることの喜び、友だちとの再会のうれしさ、いろいろな環境の中で力一杯生きている人々の様子……などを実感を得て学んできたのではないのでしょうか。こうした体験を生かして今後のつらい体験が無駄に終わらないようにしなければならぬと感じています。

感謝の気持ちを込めて！

- 十一月十六日の感想 (牛乳 焼きそばパン オレンジゼリ)
- わたしはきゅうしよくがすきです。
今のきゅうしよくもすきです。一ばんすきなのはデザートです。
デザートはみかんやゼリなどが出ています。おかずはないけど、パンが出ています。
きゅうしよくを作ってくれる人やこんでくれる人にかんしゃしています。みんなは「少ないなあ」と言っていますが、「おいしい」とも言っています。友だちとたべるきゅうしよくは楽しいです。
(2年 女子)
- 十一月十七日の感想 (牛乳 おにぎり チーズ)
- 上越教育大の人と給食交流をしました。ははたくるを作ってプレゼントしました。クイズやあやとりをしました。そして、交流に来てくれた人とよさこいをしました。学生さんたちは楽しそうに見えてくれました。
給食交流はとっても楽しいです。これからいろいろな人と給食交流をしたいです。
(4年 女子)
- 一週間の給食の献立
- 二十二日(月) おにぎり みかん 牛乳
キャンディーチーズ
 - 二十四日(水) 寿司(天巻き 細巻き いなり) 牛乳
クレープ
 - 二十五日(木) アップルパン ヨーグルト ビーンズカル
牛乳
 - 二十六日(金) ハンバーガー みかん 牛乳

シンプル給食は準備や後た付けが短時間ですみます。そこで生じた時間的余裕を学級内の人間関係づくりに役立てることもできます。今、友だちと一緒に会話したり、食べ物の味をじっくりと味わったりしながら過ごす時間の喜びを感じているようです。

昨日子どもたちが持ち帰ったりんごはどのように食べられましたでしょうか。思い出の一つのりんごになればうれしいです。



「わかりたい・知りた」という子どもの思いと「何をどのように学ばせるのか」という教師の意図がびつたり合ったとき、学習効果が期待できます。もちろんそこには環境づくりという学習の土台が整うことも大切な要素です。

随時休校になり、失われた学習時間を気にする余り、「何を、どうやって教えるのか」とだけ考えがちですが、学校では、一週間という時間を取り戻すための方策が、子どもに苦痛を感じさせ、負担に感じさせることは避けたいと考えています。

- 学習に子どもが集中できるよう、学習のすすめ方を常に子どもの側に立つて考える。
- 学校行事や一日の時間の流れの中で無理のないやりくりをして、学習する時間を五分でも十分でも増やす。
- どの子どもにも身に付けてほしい内容は、より興味をもって取り組めるよう工夫したり、繰り返したりして学習をすすめる。

子どもたちの生活の中に少しでも潤いと活力を与え、ため、視覚による効果を生かそうと考えています。

17日(水)は音楽朝会で3年生が清々しい歌とリコーダー演奏を聞かせてくれました。

2週間目を迎えたシンブル給食。ゆったりとした雰囲気を出し一助としてちよっとひと工夫。この時間「癒しの音楽」を流しています。さらにゆったり感が生まれるようです。

今日は中川ひろたかさんとたにぞうさんの歌とギター演奏を聴きました。

また、富山県内の農業高校生が色とりどりのシクラメンの花の鉢を届けに来てくれました。

「少しでも早い復興と子どもたちにも少しでも元気を取り戻して欲しい」という願いを込めて贈ります」という代表のメッセージ。高校生の思いに思わず胸を熱くしました。

これまでも県内各地をはじめ、全国からも熱いメッセージがたくさん届いています。まずは、西体育館等に掲示し、子どもから見られてもらっているところでは、



これまで、学校の水道水が使用できず、各家庭等から飲料水を持参いただき、お手を洗い、水道水の検査が終わり、飲料水として使用しても良いとの連絡が教育委員会から届きました。

各家庭からの飲料水の持参は今週で終わります。